

## 第2学年 技術・家庭科(家庭分野)の課題と授業工夫・改善案

### 1 生徒の実態

生徒達は、1年次より技術・家庭科と総合的な学習の時間とのカリキュラムの中で、『弁当の日』で弁当作りの学習をこれまでに3回体験している。

技術・家庭科では、1年生で食生活、2年生では衣生活について主に学習してきた。家庭では、毎週発行している「家庭科便り」に載っていた簡単な料理を作ったり、リサイクルなどのエコ活動や衣服の着方などを工夫したりしており、家庭生活に関する様々な質問をしてくる生徒も見られ、技術・家庭科に対して主体的に意欲をもって取り組む生徒が多い。

本校の授業アンケート結果から、「家庭科が好き」(とても好き・すこし好き)と思っている生徒68%、「日常生活に役に立つ」(とても役に立つ・少し役に立つ)と思っている生徒は90%いることでも分かるように、学んだ知識や技術を生活に生かそうと興味関心をもつ生徒は多い。しかし、学校で学習したことや知り得た「こつ」などを具体的に生かし、家庭で自分の課題解決するまでの実践的態度を身に付けるまでには至っていない。

### 2 生徒につけたい力

自分で生活の問題点に気づき、課題を見つけ出す力 自ら家庭生活を振り返り、学んだことを生活に生かす力 よりよい家庭生活を築くために、家族とのコミュニケーションをとる力
--

### 3 指導工夫改善の手だて

実践的・体験的な学習で学んだことを、問題解決学習や自らの生活に生かすことができるように題材構成を工夫する。 保護者との連携を取り入れた、学習展開を工夫する。 自分の考えを分かりやすく表現するための教材や学習プリントを工夫する。
---

### 4 題材「中学生になるまで」指導計画 2時間

	1	2 本時
内容	「自分の成長を振り返ろう」 命の誕生から乳児期,幼児期,児童期, 現在までの成長の過程を振り返る。	「自分の成長を見つけよう」 中学生になるまでの成長過程を振り返り、自分の成長が家族や多くの人の力によって、支えられ守られてきたことに気づく。

(1) 題材名 「自分の成長を見つけよう」 (B(1))

(2) 本時の指導観

本時では、人はお互いに影響し合って生きており、家族や多くの人によって、支えられ守られて成長してきたことを実感させたい。そのために、まず、「食生活」を通して見えてきた成長過程を「弁当の日」の体験学習とあわせて確認させる。次に、これまでの子育ての中から、見守り育ててきた「親の思い」と「子どもの成長」について保護者の声を聴かせる。その後、自分の成長を植物の生長にたとえ、絵にまとめ表すようにする。

(3) 主眼

自分の成長が家族や多くの人によって、支えられ守られてきたことに気づく。

(4) 準備

マイベビー人形、学習プリント、色えんぴつ、説明用のカード、プロジェクター

(5) 展開

学習活動・ 学習内容	学習 形態	指導上の留意点	指導工夫改善の手だて 評価	配 時
1 今までの学習を振り返る。 ・人の成長課程	一斉	・「マイベビー」で新生児の姿を見せ身体や行動の成長を確認させる。		3
2 本時めあての確認をする。	一斉		成長の過程が実感できるように「食生活」における乳幼児から現在についての流れがわかりやすいカードを用意する。	2
3 「食生活」から自分の成長を振り返る ・乳児期、幼児期、現在までの食生活について ・「弁当の日」の成果より	一斉		「弁当の日」を想起させ、食生活の技能から成長を確認させる。 生徒が親の思いに気づいて、自分の成長を振り返ることができるように、保護者の協力を得る。	7
4 子どもの成長や親の思いについての話を聞く。	一斉	・保護者GTの方には「弁当の日」の弁当づくりから見た子どもの成長と「親の思い」について語ってもらう。	人の成長を植物の生長にたとえて書かせる。	10
5 家族とのつながりを考えた自分の成長を絵にまとめる。 ・植物の生長と自分の成長 ・成長の絵の発表	個人 班 一斉	・いろいろな描き方があり、自由な発想で書けるように指導する。 ・発表のポイント (多くの人に守られ支えられ育ってきたこと・家族や周囲の愛情等)		23
6 まとめ・自己評価	個人	・学習のまとめに学んだこと気づいたことを記入する。 ・自己評価カードを書く。	知：自分の成長が多くの人の力によって支えられ守られてきたことに気づくことができたか。 学習プリント分析	5